

# 令和5年度年間授業計画

教科:芸術 科目:音楽Ⅲ 校内科目名:音楽Ⅲ  
教科担当者:岡村 繁

対象年次:3

2単位

使用教科書・教材

教科書:「Joy of Music」 (教育芸術社)  
プリント

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	<p>&lt;1学期&gt; オリエンテーション 各生徒から志望校・専攻等・入試等の聴き取り 各生徒別の指導方針を決定 (各生徒の入試に応じて実施) 楽典問題・調判定・聴音・新曲視唱 ソルフェージュ課題の歌唱 副科ピアノの練習とレッスン、発表とアドヴァイス 専攻入試実技の練習と発表、アドヴァイス 趣味で選択した者への個別レッスン、アンサンブル</p> <p>※感染症対策のため当分の間歌唱は行わない</p>	<p>各生徒の入試に応じて、ひとりずつ別々のメニューを組み立てる。 副科ピアノおよび専攻実技については非専攻の指導範囲でアドヴァイスやレッスンを行う</p> <p>趣味で選択した者へは希望する楽器等の個別レッスン、アンサンブルによる「グループ学習等を行う</p>	<p>1 学習態度、出席状況 2 テスト、発表の成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度</p>	22
2 学期	<p>&lt;2学期&gt; (各生徒の入試に応じて実施) 楽典問題 調判定 聴音 新曲視唱 ソルフェージュ課題の歌唱 副科ピアノの練習とレッスン、発表とアドヴァイス 専攻入試実技の練習と発表、アドヴァイス 副科ピアノ、専攻実技の公開模擬入試 趣味で選択した者への個別レッスン、アンサンブル</p> <p>※感染症対策のため当分の間歌唱は行わない</p>	<p>各生徒の入試に応じて、ひとりずつ別々のメニューを組み立てる。 副科ピアノおよび専攻実技については非専攻の指導範囲でアドヴァイスやレッスンを行う 公開模擬試験を通じて実技入試本番へのメンタル面の態勢を作る</p> <p>趣味で選択した者へは希望する楽器等の個別レッスン、アンサンブルによる「グループ学習等を行う</p>	<p>1 学習態度、出席状況 2 テスト、発表の成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度</p>	28
3 学期	<p>&lt;3学期&gt; まとめ</p>	<p>各生徒の入試に応じて、ひとりずつ別々のメニューを組み立てる。 副科ピアノおよび専攻実技については非専攻の指導範囲でアドヴァイスやレッスンを行う 公開模擬試験を通じて実技入試本番へのメンタル面の態勢を作る 入試直前に弱い部分の見直しと強化を行う</p> <p>趣味で選択した者へは希望する楽器等の個別レッスン、アンサンブルによる「グループ学習等を行う</p>	<p>1 学習態度、出席状況 2 テスト、発表の成績 3 演奏技術の習得と向上 4 講義内容の理解度</p>	20
			合計	70

# 令和5年度年間授業計画

教科:音楽 科目:声楽 校内科目名:合唱  
 教科担当者: 岡村 繁

対象年次:3

2単位

使用教科書・教材

プリント

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	<1学期> 4月:入学式にて校歌紹介に出演 1 発声・斉唱 2 邦人作曲家による女声合唱 3 ゴスペル等の外国の合唱 4 合唱曲・関連曲の鑑賞 5 パート練習 6 合わせ練習 7 仕上げ練習 8 歌唱テスト  ※感染症対策のため当分の間歌唱は行わず器楽を扱う	正しい発声法を身につけ、楽しく歌うことを 第一の目的とする。合唱の前に、斉唱で歌えることが条件。その上でソルフェージュの力を高め、より正確なハーモニーで、様々な曲を歌うことを目指す。  日本語と英語等を中心に、平易な曲から難易度の高い曲まで様々なジャンルの楽曲を歌い、音楽の経験を深める。合唱する喜びを味わい、生涯学習としての基礎を築く。 ※感染症対策のため当分の間歌唱は行わず器楽を扱う	1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 入学式での発表 4 演奏技術の習得と向上	22
2 学期	<2学期> 1 発声・斉唱 2 邦人作曲家による女声合唱 3 ゴスペル等の外国の合唱 4 合唱曲・関連曲の鑑賞 5 パート練習 6 合わせ練習 7 仕上げ練習 8 歌唱テスト  ※感染症対策のため当分の間歌唱は行わず器楽を扱う	正しい発声法を身につけ、楽しく歌うことを 第一の目的とする。合唱の前に、斉唱で歌えることが条件。その上でソルフェージュの力を高め、より正確なハーモニーで、様々な曲を歌うことを目指す。  日本語と英語等を中心に、平易な曲から難易度の高い曲まで様々なジャンルの楽曲を歌い、音楽の経験を深める。合唱する喜びを味わい、生涯学習としての基礎を築く。 ※感染症対策のため当分の間歌唱は行わず器楽を扱う	1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上	28
3 学期	<3学期> まとめ	正しい発声法を身につけ、楽しく歌うことを 第一の目的とする。合唱の前に、斉唱で歌えることが条件。その上でソルフェージュの力を高め、より正確なハーモニーで、様々な曲を歌うことを目指す。  日本語と英語等を中心に、平易な曲から難易度の高い曲まで様々なジャンルの楽曲を歌い、音楽の経験を深める。合唱する喜びを味わい、生涯学習としての基礎を築く。 ※感染症対策のため当分の間歌唱は行わず器楽を扱う	1 学習態度、出席状況 2 実技テストの成績 3 演奏技術の習得と向上	20
合計				70

# 令和5年度年間授業計画

教科:音楽 科目:器楽 校内科目名:保育系ピアノ  
 教科担当者: 岡村 繁

対象年次:3

2単位

使用教科書・教材

プリント

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	<p>&lt;1学期&gt;                      オリエンテーション                      志望校・ピアノの経験等アンケートの実施                      (初心者)                      座り方 手の形 姿勢 指の番号 等                      楽譜の読み方 楽語 等、 バイエル                      (初中級者)                      各自の経験・能力に合わせた曲                      ツェルニー・ブルクミュラー・ソナチネ                      ポピュラー曲 ディズニーの曲等                      簡単な聴音(単音)                      コードネームによる伴奏(伴奏譜あり)                      ピアノ実技は個人レッスンを中心に行う</p>	<p>保育系大学等進学者、保育士・幼稚園教諭志望者に対して、主にピアノの実技を中心に指導する。</p> <p>保育系大学等でのピアノの授業の基礎として、また将来保育士となったときの基礎力を身につけることをねらいとする。</p> <p>童謡等の伴奏や歌唱、及び弾き歌い等の教材や内容等、保育の現場を想定したものも行う。                      ※感染症対策のため当分の間歌唱は行わない</p>	<p>1 授業への取り組み                      (態度・意欲・関心)                      2 演奏技術の習得と向上                      3 実技テスト</p>	22
2 学期	<p>&lt;2学期&gt;                      (初心者)                      バイエル中心。70～80番を目標とする。童謡等について、右手でメロディ、左手で和音伴奏が弾けるようにする。                      (初中級者)                      各自の経験・能力に合わせた曲                      ツェルニー ブルクミュラー ソナチネ                      ポピュラー曲 ディズニーの曲 等</p> <p>各自のレベルに合った難易度の曲                      簡単な聴音(和声を含む)                      コードネームによる伴奏(伴奏譜なし)                      保育の現場を想定した弾き歌い                      ※感染症対策のため当分の間歌唱は行わない</p>	<p>保育系大学等進学者、保育士・幼稚園教諭志望者に対して、主にピアノの実技を中心に指導する。</p> <p>保育系大学等でのピアノの授業の基礎として、また将来保育士となったときの基礎力を身につけることをねらいとする。</p> <p>童謡等の伴奏や歌唱、及び弾き歌い等の教材や内容等、保育の現場を想定したものも行う。                      ※感染症対策のため当分の間歌唱は行わない</p>	<p>1 授業への取り組み                      (態度・意欲・関心)                      2 演奏技術の習得と向上                      3 実技テスト</p>	28
3 学期	<p>&lt;3学期&gt;                      まとめ</p>	<p>保育系大学等進学者、保育士・幼稚園教諭志望者に対して、主にピアノの実技を中心に指導する。</p> <p>保育系大学等でのピアノの授業の基礎として、また将来保育士となったときの基礎力を身につけることをねらいとする。</p> <p>童謡等の伴奏や歌唱、及び弾き歌い等の教材や内容等、保育の現場を想定したものも行う。                      ※感染症対策のため当分の間歌唱は行わない</p>	<p>1 授業への取り組み                      (態度・意欲・関心)                      2 演奏技術の習得と向上                      3 実技テスト</p>	20
合計				70